

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第37週	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(19)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1081 0.22																11418
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(12)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	10500 3.34	180 6.00	148 5.10	▼	98 7.54	98 8.17	△	2 0.67	1 0.33	▼	67 11.17	30 5.00	▼	13 1.63	19 2.38	▲	1288
咽頭結膜熱	1455 0.46	25 0.83	20 0.69	▼	18 1.38	14 1.17	▽				4 0.67	4 0.67		3 0.38	2 0.25	▼	713
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4847 1.54	65 2.17	68 2.34	△	28 2.15	19 1.58	▼	2 0.67	3 1.00	△	28 4.67	30 5.00	△	7 0.88	16 2.00	▲	5360
感染性胃腸炎	10355 3.29	60 2.00	42 1.45	▼	25 1.92	17 1.42	▼	5 1.67	1 0.33	▽	18 3.00	15 2.50	▼	12 1.50	9 1.13	▼	5654
水痘	622 0.20	7 0.23	10 0.34	▲		5 0.42	△	1 0.33	1 0.33		3 0.50	3 0.50		3 0.38	1 0.13	▽	465
手足口病	12198 3.88	181 ◎2.03	129 ◎4.45	▼	31 ◎2.38	27 ◎2.25	▼	38 ◎12.67	14 ◎4.67	▼	56 ◎9.33	43 ◎7.17	▼	56 ◎7.00	45 ◎5.63	▼	2951
伝染性紅斑	201 0.06	13 0.43	17 0.59	△	4 0.31	2 0.17	▽		2 0.67	△	8 ◎1.33	13 ◎2.17	△	1 0.13		▽	553
突発性発しん	1409 0.45	14 0.47	13 0.45	▼	6 0.46	3 0.25	▽		1 0.33	△	5 0.83	4 0.67	▽	3 0.38	5 0.63	△	712
百日咳	30 0.01	1 0.03		▽	1 0.08		▽										23
ヘルパンギーナ	3048 0.97	61 ◎2.03	23 0.79	▼	19 1.46	3 0.25	▽	5 1.67	1 0.33	▽	21 ◎3.50	16 ◎2.67	▼	16 ◎2.00	3 0.38	▼	1157
流行性耳下腺炎	1227 0.39	4 0.13	15 0.52	△	2 0.15	3 0.25	△				2 0.33	11 1.83	△		1 0.13	△	527
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																
流行性角結膜炎	691 1.00	10 1.25	14 1.75	△	9 2.25	11 2.75	△		2 2.00	△				1 0.50	1 0.50		107
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																78
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	151 0.32	6 0.60	3 0.30	▼	4 1.00	1 0.25	▽		1 1.00	△	1 0.50		▽	1 0.33	1 0.33		161
細菌性髄膜炎	9 0.02																2
無菌性髄膜炎	26 0.05		1 0.10	△										1 0.33		△	8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		
	無症状病原体保有者				2	※内、第36週追加報告分1件。
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1		1		型別:O121 VT2 1件、O157 VT1VT2 1件。
	無症状病原体保有者	1		1		※内、第36週追加分1件。 型別:O111 VT1 1件、O121 VT2 1件。
つつが虫病	患者		1			

<通信欄>

※第38週は、定点医療機関の休診に伴い、インフルエンザ定点:48→47、小児科定点:30→29になっています。

※トピックスで、つつが虫病、腸管出血性大腸菌感染症、手足口病について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

＜定点把握感染症 報告患者数 年齢別＞

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	8	27	60	31	15	4	2	1							148
咽頭結膜熱		1	8	4	3	1	2	1							20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	3	3	6	4	10	10	5	7	7	8			68
感染性胃腸炎	1	7	4	7	5	4	4	1	4	1	2	6			42
水痘		3	1			1	1	3		1					10
手足口病	1	6	40	24	22	5	9	5	4	4	1	6		2	129
伝染性紅斑					2	7	3	1	2				2		17
突発性発しん	1	2	9	1											13
百日咳															
ヘルパンギーナ		2	5	5	6	1		3				1			23
流行性耳下腺炎						5		3	3	1	1	2			15

＜平成29年8月 月報＞

2017年9月20日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～8月	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	24	9	9	7	10	1	1	3	4	150
	定点当り	2.00	2.40	2.25	2.25	7.00	10.00	0.50	0.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	2	5	2	2				1		2	49
	定点当り	0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	3	4	2	2					1	2	14
	定点当り	0.30	0.40	0.50	0.50					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	5	3	1	1					4	2	30
	定点当り	0.50	0.30	0.25	0.25					1.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	7	1	1		1			4	5	53
	定点当り	0.50	0.70	0.25	0.25		1.00			1.33	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	23	21	14	11	2	1	2		5	9	165
	定点当り	2.30	2.10	3.50	2.75	2.00	1.00	1.00		1.67	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

＜トピックス＞

【つつが虫病情報】

第38週に、最上地区から、つつが虫の患者が1名報告されました。

つつが虫病とは

ツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されて、高熱や発疹などの症状が出る病気です。季節的には春から初夏にかけて多く発生し、秋にも発生がみられます。

【症状】

発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

【予防法】

- ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。これらの場所に立ち入るときは、次のようなことを心がけることが大切です。
- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
- ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
- ③なるべく草むらに直接座らない。
- ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。

ツツガムシの居そうな場所に立ち寄った5～14日後に発熱した場合、まず、つつが虫を疑うことが大切です。早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。



ヒゲツツガムシの幼虫 (撮影:衛生研究所)

※つつが虫病についてのパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/> (衛生研究所HP)

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

第38週に、腸管出血性大腸菌感染症の患者が2名、無症状病原体保有者が1名報告されています。

1.感染者の内訳 (平成29年第1週からの合計)

- ①地区別
- ②型別

村山地区：20名

最上地区：2名

置賜地区：28名

庄内地区：4名

計 54名

O血清型	ベロ毒素型	報告数
O26	VT1	17
O55	VT1	2
O103	VT1	5
O111	VT1	1
O115	VT2	1
O121	VT2	4
O145	VT2	2
O157	VT2	12
	VT1VT2	9
OUT	VT2	1
合計		54

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなっています。

・手足口病：警報開始基準値：5人 警報終息基準値：2人

・第38週 定点あたり報告数 (山形県：4.5人)

村山地区 2.3人、最上地区 4.7人、置賜地区 7.2人、庄内地区 5.6人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(9月20日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が48件、エンテロ71が1件検出されています。

2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)

